

ぼうさい

とこなめ防災ガイド

～地区別ハザードマップ付～



ぼうさい

わが家の防災メモ

●れんらく家族の連絡先

●ひじょう非常持ち出し品の置き場所

●ひなん近くの避難場所

●ひなん近くの避難所



地震を知ろう

日本周辺で発生する地震は、プレートと呼ばれる複数の岩盤の潜り込みによる「海溝型地震」と、プレート内部での岩盤のずれ（断層）による「内陸型地震（活断層地震）」に大別されます。

私たちの住む地域では、太平洋沖にある南海トラフと呼ばれる深い溝の周辺で、約 100 年から 150 年周期で海溝型の大地震が発生しています。特に静岡県駿河湾沖付近では、安政元年（1854 年）の安政東海地震から 160 年以上地震が発生しておらず、近い将来、大きな地震が起こると言われています。

南海トラフ巨大地震

平成 23 年（2011 年）3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）では、岩手県沖から茨城県沖までの約 500 km の範囲でプレート境界がずれ、最大震度 7、マグニチュード 9.0 の巨大地震が発生しました。そして、南海トラフ沿いの広い震源域でも連動して巨大地震が発生する可能性があるということで、平成 24 年度に国から示されたのが「南海トラフ巨大地震」であり、最大震度 7、マグニチュード 9.0 クラスの想定です。



南海トラフ巨大地震の想定震源域



(資料：愛知県活断層アトラスより)

内陸型地震(活断層地震)

陸側のプレート内部での断層運動により発生する地震です。近年では、平成 7 年（1995 年）に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）や、平成 28 年（2016 年）に発生した熊本地震が内陸型地震に分類されます。日本には、過去 100 万年前に発生または活動し、今後も活動すると予想される断層（活断層）が 2,000 か所以上あると言われています。

コラム1 震度とマグニチュード

震度は、地震が起きたときの、ある地点での地面のゆれの強さを表したもので、震度 0 から 4、5 弱、5 強、6 弱、6 強、7 の 10 段階で表します。マグニチュードは、地震そのものの大きさ（地震のエネルギー）を表したものです。マグニチュードが 1 大きくなると、地震のエネルギーは約 32 倍になり、2 大きくなると、約 1000 倍大きくなると言われています。

コラム2 過去にこの地方で起きた大地震

濃尾地震

明治 24 年（1891 年）10 月 28 日、愛知県北西部から岐阜県にかけて発生したマグニチュード 8.0 の内陸型の大地震で、死者約 7,300 人、負傷者約 17,000 人、家屋全壊約 140,000 戸の被害をもたらしました。

昭和東南海地震

昭和 19 年（1944 年）12 月 7 日、紀伊半島沖で発生したマグニチュード 7.9 の海溝型の大地震で、熊野灘沿岸で 6～8m、遠州灘沿岸で 1～2m の津波が発生し、紀伊半島東岸では 30～40 cm 地盤が沈下しました。死者・行方不明者は 1,223 人に達したと言われています。

地震が起きたときの行動

安全行動の①-②-③

①

まず低く
DROP!

②

頭を守り
COVER!

③

動かない
HOLD ON!

許可 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

●家庭内での行動

①身を守るため、窓ガラスから離れ、机などの下に身をかくしましょう。

②ゆれがおさまったら、ガスの元栓を閉める、ブレーカーを落とすなどして、出火原因を断ちましょう。

③ドアや窓を開けて逃げ道を確保しましょう。

●外出時の行動

- ・手荷物などで頭をかくして、看板や窓ガラスなどの落下物から守り、広場などに移動しましょう。
- ・ブロック塀、自動販売機、電柱、たれ下がった電線などからは離れましょう。



緊急地震速報を活用しよう

- ・最大震度 5 弱以上が予想される場合に、震度 4 以上のゆれが予想される地域に対して、テレビやラジオ、携帯電話などを通じて緊急地震速報が発表されます。
- ・速報発表からゆれが来るまでの時間は、数秒から数十秒ぐらいです。
- ・速報は的中するとは限りませんが、自分の身を守るために活用しましょう。



●ゆれの強さ（震度）と想定される被害

ある場所における地震によるゆれの強さは「震度」で表され、0、1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7と10段階あります。南海トラフ巨大地震が発生した場合、常滑市では、最大震度7と予想されています。

<p>震度 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの人が驚く。 ・歩いている人のほとんどがゆれを感じる。 ・眠っている人のほとんどが目を覚ます。 	<p>震度 5 弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる ・棚にある食器類や本が落ちることがある。 	<p>震度 5 強</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 ・棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
<p>震度 6 弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立っていることが困難になる。 ・固定していない家具の多くが移動し、倒れるものもある。ドアも開かなくなることがある。 	<p>震度 6 強</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立っていることができず、はわないと動くことができない。 ・耐震性の低い木造建物は傾くものや倒れるものが増える。 	<p>震度 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ・耐震性の高い木造建物でもまれに傾くことがある。

わが家の地震対策

もしもの災害に備えて、家庭での事前準備としての安全対策をしっかり行いましょう。

① 大型電化製品は、転倒防止ベルトや専用金具などで固定する

② 背の高い家具は、
ささげ棒やし字金具
などで固定する



③ ガラスには飛散防止フィルムをはる

④ 防災加工のカーテンにする

⑤ 重ね式の家具はつなぎ目を連結金具で固定する

年に1回は家の大掃除を行い、危険なところがないかチェックしましょう！

常滑市の耐震診断・耐震化助成

平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災では古い木造住宅が数多く倒壊し、多くの人々が犠牲となりました。大地震による家屋の倒壊から身を守るために、住まいの耐震性を確認する必要があります。常滑市では、平成14年度から市内の木造住宅の無料耐震診断および耐震改修の補助を行っています。

【無料耐震診断の対象となる住宅】

- ・現在住まいとして利用されていること。
- ・木造で2階建て以下の住宅であること。
- ・一戸建て住宅・併用住宅・長屋または共同住宅(賃貸を含む)であること。
- ・昭和56年5月31日以前に着工されたもの。

※申込みは住宅などの所有者に限ります。賃貸の場合は入居者の同意が必要です。



【耐震改修の補助金が受けられます】

市の無料木造耐震診断を受けていただいた住宅で、診断結果が1.0未満と判定され、一定の基準を満たす改修を行う場合は、補助金が受けられます。なお、耐震改修を行うと税制(固定資産税、所得税)の優遇措置も受けられます。

【申込み方法】

常滑市役所の都市計画課および各公民館に用意してある「わが家の簡易耐震診断票」に記載の上、都市計画課まで提出してください。







●問合せ/常滑市建設部都市計画課

コラム3 阪神・淡路大震災での被害

阪神・淡路大震災は、平成7年(1995年)1月17日早朝に発生した、最大震度7、マグニチュード7.3の兵庫県南部地震による大規模災害で、死者6,434人、行方不明者3人、負傷者40,000人以上の被害を出しました。死因の80%以上が家屋などの倒壊による圧死であり、建物の耐震化の重要性を訴える出来事となりました。

津波が起きたときの行動

津波の特徴と警報・注意報

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害	取るべき避難行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表		
大津波 警報*	予想される津波の高さが 高いところで3mを超える 場合	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人 は津波による流 れに巻き込ま れます。 	沿岸部や川沿いにいる人は、ただ ちに高台や避難ビルなど安全な場 所へ避難してください。 
		10m (5m<予想高さ≤10m)			
		5m (3m<予想高さ≤5m)			
津波警報	予想される津波の高さが 高いところで1mを超え、 3m以下の場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が 襲い、浸水被害が発生します。 人は津波による 流れに巻き 込まれます。 	
津波 注意報	予想される津波の高さが 高いところで0.2m以上、 1m以下の場合であって、 津波による災害のおそれ がある場合	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	表記 しない	海の中では人は速い流れに巻 き込まれ、また、養殖いかだ が流失し小 型船舶が転 覆します。 	海の中にいる人 はただちに海 から上がって、 海岸から離れ てください。 

*大津波警報は、特別警報に位置づけられています。

●津波による災害のおそれがない場合には、「津波の心配はない」旨、または「被害の心配はなく、特段の防災対応の必要がない」旨について、地震情報に含めて発表する。

コラム4 津波の特徴

- 津波の破壊力…高さ30cmの津波で人は流れに巻きこまれ、2mでは木造住宅が全壊する。
- 津波の速さ…深いほど速く、沖合ではジェット機（時速約800km）の速さで進み、浅い所でもオリンピックの短距離走選手並み（100mを約10秒）に進む。
- 繰返し襲来…津波は繰返し押し寄せ、後から来る波のほうが高いことがある。

指定緊急避難場所・指定避難所

指定緊急避難場所

(1) 一時避難場所…①地震一時避難場所

大規模な地震が発生した場合に、避難者が一時的に集合して身を守る場所です。

②津波一時避難場所

地震一時避難場所のうち、標高10m以上の場所を限定して指定した場所です。

(2) 大地震広域避難場所…大規模な地震が発生し、火災の延焼などにより地域内の一時避難場所にも危険が生じた際に広域的に避難する場所です。

指定避難所

(1) 避難所…災害の危険性があり避難した人が、災害の危険性がなくなるまで必要な間滞在する、または災害により家に戻れなくなった人が一時的に滞在するための施設のことを言います。

(2) 福祉避難所…災害発生時に一般避難所での生活に支障をきたす障がいのある人などの要配慮者・避難行動要支援者を受け入れるため、特別な配慮がなされた避難所です。



避難場所
案内看板



避難所
案内看板

コラム5 避難所生活での心得

●所持品について

- ・所持品は一か所にまとめて、余震のときはすぐに持ち出せるようにしましょう。
- ・避難者同士がトラブルにならないためにも、所持品に名前を書いておきましょう。

●衛生面について

- ・ゴミは所定の場所へ。
- ・トイレはきれいに使いましょう。
- ・清掃は定期的に行い、清潔な状態を保ちましょう。

●避難行動要支援者をみんなで守る

- ・障がいのある人、高齢者や妊産婦などには手助けを。
- ・盲導犬・介助犬は避難所で受け入れましょう。
- ・車いすが通行できるようバリアフリー化を。

台風や大雨の風水害への備え

台風や大雨は私たちに何度も大きな災害をもたらしています。日ごろから十分な対策を立てておきましょう。

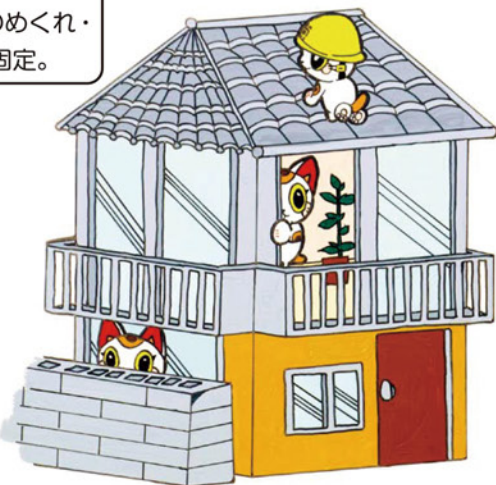
屋外での対策

屋根
瓦のひび・割れ・ずれ・はがれ、トタンのめくれ・はがれをなくす。アンテナはしっかり固定。

ベランダ
植木鉢など風に飛ばされそうなものは室内に入れる。

雨どい
掃除し、排水をスムーズにしておく。

外壁
モルタルの壁に亀裂はないか。プロパンガスのボンベは固定されているか。



窓ガラス
窓ガラスが割れた際の飛散を防ぐため、飛散防止フィルムをはる。また、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。

雨戸
がたつきやゆるみはないか。

ブロック塀
ひび割れや壊れた部分はないか。

屋内での対策

- ・停電や避難に備えて、非常持ち出し品の準備をしておきましょう。
- ・気象情報に注意しましょう。
- ・浸水のおそれがある場合、食料品、衣類や寝具などの生活用品を高い場所に移動させましょう。

風の強さ

風速 (m/秒)	状態	イメージ
10 ~ 15	・風に向かって歩きにくくなる ・傘がさせない ・樹木全体が揺れる	
15 ~ 20	・転倒する人もでる ・小枝が折れる	
20 ~ 25	・しっかりと体を確保しないと転倒する	
25 ~ 30	・立ってられない ・屋外での行動は危険 ・樹木が根こそぎ倒れる	
30 以上	・屋根が飛ばされたり木造住宅の全壊が始まる	

雨の強さ

1時間の雨量 (mm)	状態	イメージ
10 ~ 20	・ザーザーと降る ・地面からの跳ね返りで足元が濡れる ・雨音で話し声がよく聞き取れない	
20 ~ 30	・どしゃ降り ・傘を差していても濡れる	
30 ~ 50	・バケツをひっくり返したように降る ・道路が川のようなになる ・崖が崩れ始める	
50 ~ 80	・滝のように降る ・傘は役に立たなくなる ・マンホールから水が吹き出す ・水しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる	
80 以上	・息苦しくなるような圧迫感がある ・恐怖を感じる	

コラム6 常滑市の過去の主な風水害

伊勢湾台風
昭和34年9月26日の台風。愛知県内では主に高潮による浸水被害が発生し、市内では死者13人、重軽傷者348人を出しました。

東海豪雨
平成12年9月11日の豪雨。市内では総雨量483.5mmを観測し、一部損壊4戸、床上浸水84戸、床下浸水237戸などの住家被害が出ました。

危険な土砂災害

土砂災害には、がけ崩れ、土石流、地すべりの3種類がありますが、常滑市では特にがけ崩れの発生が想定されます。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ雨水により、急な斜面が突如崩れ落ちる現象のことを言います。主な前兆現象としては、崖からの水が濁る、崖から音がする、斜面のひび割れ・変形などが挙げられます。



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

「土砂災害防止法」に基づき、土砂災害から生命を守るため、土砂災害のおそれがあると指定された区域のことです。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域。区域に指定されると、災害情報の伝達や避難が早くできるように都道府県と市区町村などにより、警戒避難体制が整備されます。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうち、建物の損壊が生じ、特に住民に著しい危害が生じるおそれがある区域。区域に指定されると、特定の開発行為が許可制になるほか、建物の構造規制などが行われます。

避難情報

市が避難情報を発令する際には、「警戒レベル」を付けて発令します。お住まいの地域に、「警戒レベル3」で高齢者等は危険な場所から避難を開始し、「警戒レベル4」で危険な場所から全員避難してください。

「警戒レベル」と避難行動・避難情報の関係 ～「警戒レベル」で避難するタイミングをお知らせします～

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報		
↑ 高 危険度	5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保 ※1	常滑市が発令
	~~~~~ 〈 警戒レベル4までに必ず避難！ 〉 ~~~~~				
	4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 (注)	
	3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ※2	高齢者等避難	
	2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	気象庁が発表
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)		

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです

(注) 避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令します

# 自主防災組織

自主防災組織とは、地域のみなさんが自主的に連携し、防災活動を行う組織です。大規模災害が発生したときに、消防士などの力だけでは十分な対応はできません。地域のみなさんがお互いに協力し合って、地域防災活動に取り組むことが重要です。

## 自主防災組織の活動

### 平時

- ・ 防災知識の普及、啓発
- ・ 地域安全の点検
- ・ 要配慮者、避難行動要支援者の把握
- ・ 防災訓練の実施

### 災害時

- ・ 避難誘導
- ・ 救出、救助
- ・ 情報の収集、伝達
- ・ 炊き出しや給水活動
- ・ 避難所の管理、運営



## 常滑市防災ボランティアリーダー会

市の防災リーダー養成講座、県の講座などを受講して、地域の防災力向上のために活動している人たちの集まりです。平時から、地域住民の防災知識の普及や意識の向上に努め、災害時にはボランティアコーディネーターとして関わっていき、市や自主防災組織などと協力して自主的に支援活動を行います。

常滑市防災ボランティアリーダー会の活動に興味のある方は、常滑市社会福祉協議会にお問合せください。

●問合せ／常滑市社会福祉協議会 電話 0569-43-0660



常滑市防災リーダー養成講座の様子

## 要配慮者・避難行動要支援者

高齢者や心身に障がいのある人、児童・乳幼児や妊婦などの要配慮者や、避難時に特別な支援が必要な避難行動要支援者への配慮が必要です。災害時だけでなく、普段からの手助け、心配り、あいさつを心がけてください。

### 要配慮者・避難行動要支援者

- ・ 高齢者
- ・ 妊産婦
- ・ 児童・乳幼児
- ・ 日本語の理解が十分でない外国人
- ・ 観光客
- ・ 負傷者
- ・ 視覚障がい者
- ・ 聴覚・言語障がい者
- など



## ヘルプカード・見守りキット

### ヘルプカード

●問合せ／常滑市福祉部福祉課

障がいのある人が、緊急時にこのカードを提示することで周りの人に支援を求めるものです。



(表面・うら面)



(中面)

### 見守りキット

●問合せ／常滑市福祉部高齢介護課

高齢の人や障がいのある人が、自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶようなときに正確な情報を伝えるために保管するものです。



キットに含まれるもの

- ・ 保管用容器
- ・ マグネットシール
- ・ 見守り用紙
- ・ 救急情報シート



## 災害情報の伝達手段

市が発令する避難情報は、主に以下の方法でお知らせします。災害情報の入手方法を確認しておきましょう。

### 同報系防災行政無線・防災ラジオ

屋外に設置した拡声子局や、屋内の防災ラジオを通じて、緊急・災害情報などをより早く、より多くの人へ一斉に伝達します。

市からの放送とは別に、各地区のコミュニティ放送（行事の案内、地区防災訓練など）にも活用しています。



拡声子局（イメージ）

### 同報無線ダイヤル

0569- お聞してください！

**35-0300**

このダイヤルで、常滑市からの同報無線の放送を聞き直すことができます。（通話料がかかります）

### 緊急速報メール

気象庁の緊急地震速報や市の避難情報などを、各携帯電話事業者を通じて、市内に滞在している人へ一斉配信するサービスです。特に、登録をする必要はありません。

### 市ホームページ・facebook「ええね！常滑市」

緊急・災害情報、避難所の開設状況などを配信します。



市役所  
ホームページ

facebook

### CATVのL字放送・テレビのデータ放送

緊急・災害情報、避難所の開設状況などをL字放送やデータ放送でお知らせします。

### 防災アプリ「Yahoo!防災速報」

市では、ヤフー株式会社との「災害に係る情報発信などに関する協定」に基づき、同社の防災アプリ「Yahoo!防災速報」を用いて防災情報の配信をしています。

「Yahoo!防災速報」

今すぐアプリをダウンロード！

iPhone 版

App Store  
からダウンロード

Android 版

Google Play  
で手に入れよう

*「Yahoo!防災速報」で配信する情報は、災害時に市のホームページや同報無線、テレビのデータ放送などでお知らせする情報と基本的に同じ内容です。

### コラム7 役立つ気象庁のホームページ

気象庁のホームページでは、大雨や地震などの災害から身を守るのに役立つ防災情報や生活に役立つ情報などを紹介しています。また、日本全国への降水予測を、5分間隔・250メートル四方で確認できる「高解像度降水ナウキャスト」を公開しており、急な雨や雷の対策として活用できます。

<http://www.jma.go.jp/>

気象庁

検索

# 南海トラフ地震の常滑市の被害想定 (平成26年5月愛知県公表)

南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうちで過去に実際に発生したもの（宝永、安政東海、安政南海、昭和東南海、昭和南海の5地震）を参考に想定した「過去地震最大モデル」と、「命を守る」という観点で、国の被害想定を基に、あらゆる可能性を考えた最大クラスの地震・津波を補足的に想定することとした「理論上最大想定モデル」の2パターンが示されました。

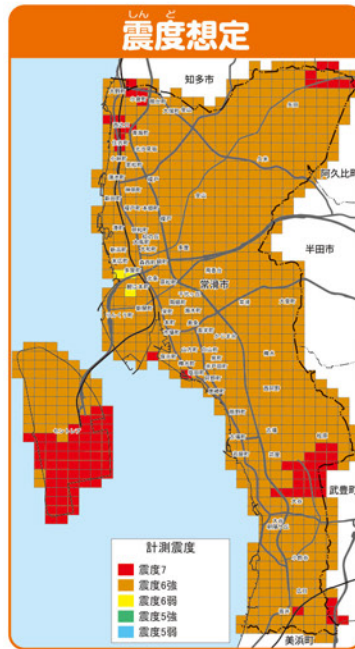
想定		過去地震最大モデル	理論上最大想定モデル
人的被害 (死者数、 冬深夜発災)	建物倒壊など	約20人	約300人
	浸水・津波	約80人	約200人
	火災	*	約50人
建物被害 (全壊・焼失棟数、 冬夕方発災)	ゆれ	約400棟	約4,300棟
	液状化	約10棟	約10棟
	浸水・津波	約200棟	約70棟
	急傾斜地崩壊 など	約20棟	約20棟
	火災	約10棟	約2,400棟
最大震度		6強	7
最大津波高		4.4m	5.5m
最短津波到達時間 (津波高30cmの到達時間)		58分	54分
浸水面積 (浸水深1cm以上)		360ha	588ha

想定	過去地震最大モデル	
ライフライン 被害 (発災1日後、 冬夕方発災)	上水道(断水人口)	約54,000人
	下水道(機能支障人口)	約22,000人
	電力(停電軒数)	約28,000軒
	固定電話(不通回線数)	約10,000回線
	携帯電話(停波基地局)	81%
	都市ガス(復旧対象戸数)	*
避難者数 (冬夕方発災)	LPガス(機能支障世帯数)	約2,500世帯
	1日後	約11,000人
	1週間後	約10,000人
	1ヶ月後	約2,700人

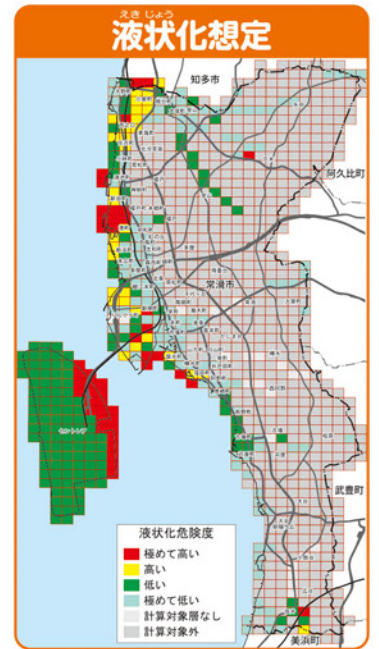
*: 被害わずか



浸水深分布図 (理論上最大想定モデル)



震度分布図 (理論上最大想定モデル)



液状化分布図 (理論上最大想定モデル)

## 県全体では

対策をすれば大きく被害を減らせる!

- ① 建物の耐震化を100%達成(現状約85%)
- ② 家具の転倒・落下防止対策100%実施(現状約50%)
- ③ 全員が発災後すぐに避難開始
- ④ 津波避難ビルの有効活用

建物全壊棟数を約6割減  
(過去地震最大モデル、  
理論上最大想定モデル)


死者数を約8割減  
(過去地震最大モデルでの効果、  
理論上最大想定モデルでは約6割減)

# 非常持ち出し品・非常備蓄品チェックリスト

## 非常持ち出し品(避難するとき、最初の段階で持ち出すもの)

<input type="checkbox"/> ヘルメットなど  落下物から頭を守るために必要。	<input type="checkbox"/> 水  飲料水は1人1日3リットルを目安に。	<input type="checkbox"/> 携帯電話・携帯ラジオ  携帯電話は充電器も忘れずに。携帯ラジオはFM・AMの両方聞けるもの。	<input type="checkbox"/> 懐中電灯  停電時や夜間の移動にかかせない。1人1つずつ持つとよい。	<input type="checkbox"/> 予備電池  懐中電灯、携帯ラジオなどを使用するときの予備として必要。
<input type="checkbox"/> 非常食  かんぱん、缶詰、栄養補助食品、ドライフーズなど。	<input type="checkbox"/> 救急医療品・常備薬  傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、マスク、常備薬、お薬手帳など。	<input type="checkbox"/> 生活用品  筆記具、ノート、衣類、軍手、ナイフ、ライター、缶切り、簡易トイレ、長靴など。	<input type="checkbox"/> 貴重品  現金、印鑑、預貯金通帳、免許証、健康保険証など。	他にも、大切な思い出の品を持ち出せるようにしておくとよいですね。 

## 非常備蓄品(災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自足するためのもの)

<input type="checkbox"/> 非常食  レトルト・インスタント食品を準備しておくとうよい。他にも、しょうゆやみそなどの調味料も準備しておくとうよい。	<input type="checkbox"/> 水  飲料水と生活用水を用意する。生活用水は、風呂水も活用できる。ポリタンクや水袋を用意するとうよい。	<input type="checkbox"/> 生活用品  カセットコンロとガスボンベ、毛布、衣類、トイレトーパー、ビニール袋、ラップ、ティッシュ、簡易トイレなど。	<input type="checkbox"/> 工具類  救出活動に使えるスコップやバール、ノコギリ、ロープ、ゴーグル、マスク、車のジャッキなど。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### これは便利! ローリングストック法

定期的にレトルト食品などを消費し、その分をあらためて補充する方法です。



## 災害時の安否確認方法

大規模災害発生時には、被災地域内における電話は大変つながりにくくなります。被災地域との電話による連絡は控え、災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板を活用しましょう。

### ●災害用伝言ダイヤル(171)の使用方法

**伝言を録音する** 「171」 → 「1」(□□□□)□□-□□□□ → **伝言を録音**

**伝言を聞く** 「171」 → 「2」(□□□□)□□-□□□□ → **伝言を再生**

被災地の自宅や連絡を取りたい人の番号を入力

### 体験利用提供日

毎月1日及び15日

正月三が日:1月1日~3日

防災とボランティア週間:1月15日~21日

防災週間:8月30日~9月5日

### ●その他の安否確認方法

◆災害用伝言板サービス

◆災害用伝言板web171

◆災害用音声お届けサービス

※アプリが必要な場合があり、加入条件により使用方法が異なります。事前に確認して体験しておきましょう!

### ●J-anpi~安否情報まとめて検索~

「J-anpi」は、「電話番号」または「氏名」を入力することで、各社の災害用伝言板および報道機関などが提供する安否情報を対象に一括で検索し、結果をまとめて確認することができます。

<https://anpi.jp/top/sp>

J-anpi